認定かかりつけ

『認定かかりつけ基準薬局』とは、

地域住民のために、地域に密着し た健康情報の拠点として、一定の基準 を満たした薬局を『認定かかりつけ 基準薬局』として認定したものです。



秋田県薬剤師会HP、保険薬局検索 で探せます。



処方せんの有効期限は 処方日を含めて4日間です。

伙田市千秋久保田町6-6 TEL.018-833-2334 E-mail info@akiyaku.or.jp http://www.akiyaku.or.jp

秋田県薬剤師会の会員が所属する会 員薬局がより「質の高い薬局」を目指 し、普及・拡充することを目的として おります。

もちろん基準薬局でなくても処方 せん調剤を行うことはできますが、 『認定かかりつけ基準薬局』をあなた の『かかりつけ薬局』選びの1つの目 安としてください。

地域の皆様のために新しく作られた "認定かかりつけ基準薬局"です



お近くの基準薬局は、



フレイルの主なチェック項目

0) この状態が長引くと、身体機能、認 知機能の衰えが進行し、要介護状態 ための外出まで控える方が 2多く、

おそれもあります。外出

しにく

ウイルスの重症化のリスクがある

必要がありますが、それにより、健康 め、感染しないように十分注意する

化にもつながります。 血流の改善を促して免疫力の活性 す。歩くことは気分転換にもなり、 歩を継続することをおすすめしま め、人との距離をしっかりとった上で 筋肉量を増やし骨を丈夫にするた になってしまうリスクが高まります。 日30分から1時間程度の軽い散

ださい。 身体状態や体調に合わせて行ってく のスクワットや足踏みなど、ご自分の しましょう。椅子やテーブルを使って また、人とのつながりが減ること 家の中でもできる範囲で体を動か

がら、フレイル予防を行いましょう。

ために必要不可欠です。

により、認知機能が著しく低下する

フレイルの3つの要素

ル」の3つの要素で構成されていま グニティブフレイル」「フィジカルフレイ フレイルは「ソーシャルフレイル」「コ

予防する必要があります。 つを予防するのではなく、総合的に を悪化させます。そのためどれか いに増強し合うような形でフレイル 身体的要素をいいます。この3つは互 る、転倒しやすい、筋肉の衰えなどの ジカルフレイル」とは動作が遅くな 知症、うつなどの精神的要素、「フィ 要素、「コグニティブフレイル」とは認 じこもり、孤食、孤独などの社会的 ッ ーシャルフレイル」とは虚弱、閉

多くの高齢者はこのフレイルの段階

んだり、疲れやすくなったりします。 イル状態の高齢者は慢性疾患に悩

を経て、徐々に要介護状態に向かっ

能などが低下することによって、フレ

す。加齢とともに運動機能、認知機

移行する中間の段階を表す言葉で

とは、健常な状態から要介護状態へ

なったことはありますか?

フレイル

ル』という言葉、みなさんお聞きに

近年注目されているこの『フレイ

フレイルとは

フレイル予防3つのポイント

です。このフレイル状態を改善するた

こから十分に回復・改善できる状態 るフレイルですが、フレイル状態はそ

ここまで読むと、とても怖く思え

めに重要なことは、早期発見、早期

フレイルを予防するために重要な

つながり」の3つです。 のは「栄養」「運動」「人との

強をサポー 含んだ食材を積極的に食べましょ -トするビタミンD を多く

のないものから始めましょう。 スクワットなどご自分に合った無理 リスクが高まります。ウオーキングや 膝や腰が痛くなったり、転倒、骨折の

栄養…バランスが良

大豆製品など)、筋肉の増 を多く含む食材(肉、魚、 取することが大切です。特 に筋肉をつくるタンパク質 十分なエネルギー量を摂

に閉じこもり

●運動…何もしないと筋肉は衰え、

がとても重要です。

するのが面倒になる人も少なくあ 事に取り組む意欲が低下し、人と接 ません。社会との接点が減ると家 人とのつながり…高齢になると物

~さまざまなフレイルの原因~



ロコモティブシンドローム

・ルって、ご存じですか?・

イルと新型コロナウイルスへ

寝たきりや要介

■孤食 ■うつ傾向 ■社会参加の 欠如

にかく話すことを心掛けましょう。 電話、オンラインなども活用して、と あいさつや会話がとても大切です。 連絡を取り合いましょう。何気ない の状況こそ、友人、家族と意識して 懸念されます。高齢者は新型コロナ 活の不活化によるフレイルの進行も が、高齢者においては、こういった生 外出を控える方も多く見られます が出てきます。そうならないために 機会が減り、うつ傾向になる可能性 行うなどの感染予防策も徹底しな みを避ける、帰宅後は手洗いをすぐ ストレスを軽減し、安心して暮らす 人とのつながりはさまざまな不安や フレイルと新型コロナウイルス 外出の際にはマスクの着用、人混 コロナ禍での感染症対策として、 人、社会とのつながりを持つこと がちになり、人と話す 35